

# 医療の価値評価を目指すセミナー2019 「医療価値評価の胎動プログラム」

- **目的:** 社会と医療、経済と医療の関係(あり方)について、広い観点から学術的な議論を進めることを主旨とする。特に、医療の価値(Value of Medicine)を探求し、得られた成果を社会全体で活用する人材の育成を目的とする。
- **対象:** 上記趣旨に関心のある医療従事者、関連学生、企業就業者、行政従事者など
- **開催時期:** 2019年10月～2020年3月(18回)
- **場所:** 東京大学医学部附属病院内および東京大学構内
- **日程:** 水・金曜日18時以降予定(前年度と概ね同様)
- **会費:** 1名につき税込み22,000円(シンポジウム参加費は別)
- **参加条件:**
  - ①原則、全ての開催日程に出席する方
  - ②事前に参加者登録した方に限る(8月30日までに申し込み)
  - ③一定条件の参加者に、PG修了書の発行を予定



## 【備考】

- ・遠隔地(関東1都6県外)の受講者はライブ動画配信での参加も可能です。(※一部のコンテンツについては、eラーニング的な提供も予定)
- ・プログラムの構成は適宜変更をされる場合があります。

## 【補足】

- ・諸条件を満たせば、ビッグデータによる実際の研究と連携したOJT研修のプログラムを実施することも可能であります(詳細は別途)

■ 主催: 東京大学大学院医学系研究科 医療経済政策学講座 ■

『お問い合わせ先』

医療価値評価の胎動プログラム事務局

URL: <http://plaza.umin.ac.jp/hehp/seminar.html>

電話: 070-6936-3485 FAX: 03-5800-8948 Mail: [value-s@umin.ac.jp](mailto:value-s@umin.ac.jp)  
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学 大学院医学系研究科 医療経済政策学講座内



# 医療価値評価の胎動プログラム

## 本プログラムの主旨



2017年度より、東京大学大学院医学系研究科の医療経済系の講座に関わる有志が、医療の価値評価を目指す「医療価値評価の胎動プログラム」を試行的に始めています。本プログラムの具体的な目標として、例えば、以下のような医療経済評価の研究成果を創出するのに必要となる各種知識の修得やノウハウの研鑽を行う機会の提供を標榜しつつ、当該分野のリーダーシップ人材の輩出や関連するエビデンスの蓄積の促進を目指しております。

- 医薬品の経済価値評価の例（イノベーションの価値）
  - ・ネイチャーグループ（NPG）の Scientific Reports. (IF:5.228, 2017)
  - ・Cost-Effectiveness of Administering Rituximab for Steroid-Dependent Nephrotic Syndrome and Frequently Relapsing Nephrotic Syndrome: A Preliminary Study in Japan.  
(Tomoyuki Takura, Takashi Takei, Kosaku Nitta)
- 医療機器の経済価値評価の例（重症患者の救命価値）
  - ・日本人工臓器学会オフィシャル雑誌の J Artif Organs. (IF:1.438, 2015)
  - ・Preliminary report on the cost-effectiveness of ventricular assist devices.  
(Tomoyuki Takura, Shunei Kyo, Minoru Ono, et al)

プログラムの詳細は、添付のセミナー構成などをご覧頂ければ幸いです。価値評価の基本概念や臨床経済評価の理論と手法（費用対効果分析も含む）、医療技術の経済価値評価のケース（医薬品と医療機器等）、医療分野における価値評価の問題（研究倫理）などを体系的に修学することを標榜しております。また、ビックデータ（約600万件×7年間）による実際の研究と連帯したOJTプログラムも並走できる特徴も有しています。講師陣には、東京大学内はもとより国内著名大学、厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、統計数理研究所の第一線でご活躍される方を予定しております。

なお、本プログラムのご参加にあたっては、身近な問題意識などを踏まえ得つつ、事前に、検討したい論点や課題（疑問）の設定をお勧めいたします。本プログラムにおける18回の講義及びシンポジウムの受講過程、またはOJT研究の取組みの中で、是非、その解決や取っ掛かりを見つけて頂ければ有意義と推察します。

多様なチェンジ・ドライバーが顕在化する昨今の医療・介護分野を背景に、本プログラムのそれぞれのコンテンツを自然体で楽しみつつも、今後のご活動の中で、参加によって得られた成果利用の最大化を志向して頂ければ幸いです。

2019年6月吉日 プログラム責任者 田倉智之（東京大学大学院医学系研究科医療経済政策学）

## 1. 医療・介護を取り巻く社会経済の動向

- (1)保険政策：田村 圭 先生(厚生労働省:予定)
- (2)薬事政策：芝 武志、小野 昭子 先生(医薬品医療機器総合機構)
- (3)社会経済政策総論(財政論等、公共制度論含む)：森田 朗 先生(津田塾大学)

## 2. 医療分野における価値評価の基本概念

- (1)行動経済学：友野 典男 先生(明治大学)
- (2)価格理論(対用理論等含む)：田倉 智之 先生(東京大学:医)
- (3)QOL分析：下妻 晃二郎 先生(立命館大学)
- (4)費用分析：荒井 耕 先生(一橋大学)
- (5)価値予測：砂川 伸幸 先生(京都大学)

## 3. 医療の経済価値評価の理論と手法

- (1)ビックデータ解析法(事例紹介を含む)：城 大祐 先生(東京大学:医)
- (2)医療統計学(研究デザイン論を含む)：笹渕 裕介 先生(自治医科大学)
- (3)モデリング手法(ベイズ統計等も交え)：伊庭 幸人 先生(統計数理研究所)
- (4)費用対効果分析：鎌江 伊三夫先生(東京大学:公)
- (5)ソフトウェア応用1(基本)：調整中

## 4. 医療分野における経済評価のケース(医療政策と医療技術)

- (1)事例1(医療技術:分子標的薬等)：武井 卓 先生  
(東京都健康長寿医療センター:予定)等
- (2)事例2(医療技術:埋込デバイス等) 田倉 智之 先生(東京大学:医)
- (3)ソフトウェア応用2:統計ソフトを用いたハンズオン実習
  - ①コースA:マルコフモデル/モンテカルロシミュレーションによるHTAの実際
  - ②コースB:価格推計(各種ポートフォリオ)におけるリアルオプション等の実際

## 5. 医療分野における価値評価の問題(留意事項と必要条件)

- (1)討論1(意思決定)：秋野 公造 先生(参議院議員)、南学 正臣 先生  
(東京大学:医)
- (2)討論2(倫理と振興)：黒木 登志夫 先生(日本学術振興会)

## 6. シンポジウム

- ・総合討論:プログラムの成果報告も兼ねて最後にシンポジウムを開催する